

取扱説明書

用途

【カッターナイフ替刃を使用した場合】

●石こうボード、シーリングボード、ゴムなどの切断作業

【合板用ブレードを使用した場合】

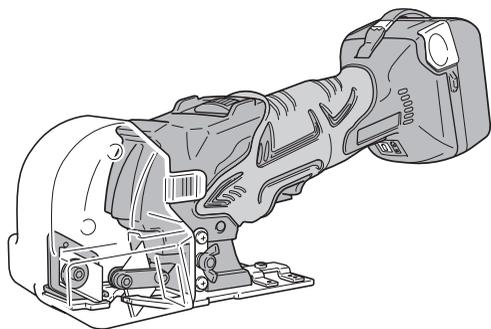
●普通合板、化粧合板などの切断作業

【窓抜きブレードを使用した場合】

●石こうボードの窓抜き作業

日立コードレスナイフカッタ CK 14DSL

このたびは日立コードレスナイフカッタをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



コードレス工具の安全上のご注意	…1
本製品の使用上のご注意	…5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	…6
各部の名称	…8
仕様	…9
別売部品	…10

はじめに

充電する	…11
電池残量警告ランプについて	…13
スイッチについて	…13
六角棒スパナの収納について	…14
ダストカバーの取りはずし・取付け	…14
ブレードの取りはずし・取付け	…15
ケビキ刃の取りはずし・取付け	…16
切断する	…17

使い方

カッターナイフ替刃について	…19
切断できる長さについて	…20
保守・点検	…21
ご修理のときは	…裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものと粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具体や蓄電池を、温度が50℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具を使用してください。**
 - 小形の工具やアタッチメントは、大形の工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

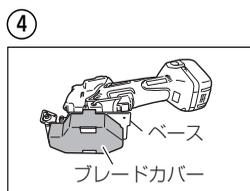
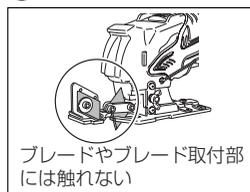
先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスナイフカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止し、点検・修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレード類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑤ ブレード類の取扱いには十分注意をしてください。
 - 刃先は鋭く研磨されているので、ちょっとした不注意でも、けがの原因になります。
- ⑥ カッターナイフ替刃は、必ず「3枚刃」の状態に折って使用してください。
 - カッターナイフ替刃を折らずに長いまま、または、指定の長さよりも長くして、本機に取付けると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① ブレード類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレード類やブレード取付部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ③ 運転中は、持ち運びしないでください。
 - 運転中、持ち運びすると、けがの原因になります。
- ④ 作業しないときは、必ずブレードカバーをベースに取付けてください。
 - ブレードカバーは、身体が刃物に触れるのを防ぐものです。

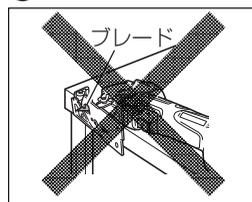


⚠ 注意

⑤ スイッチをロックし、ブレードを下側にして置いてください。

- ブレードカバーを取付けないでブレードを露出させたまま、横向きに置くと、けがの原因になります。

⑥



⑥ 作業台の端などに置かないでください。

- 落としやすく、けがの原因になります。

⑦ 作業直後のブレード類は高温になっているので、触れないでください。

- やけどの原因になります。

⑧ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。

- 材料や工具などを落としたとき、事故の原因になります。

⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。

⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。

⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。

14.4V蓄電池(BSL 14 xxシリーズ)の場合：電池電圧約8Vまで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。

② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
再びご使用になれます。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次のページに述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

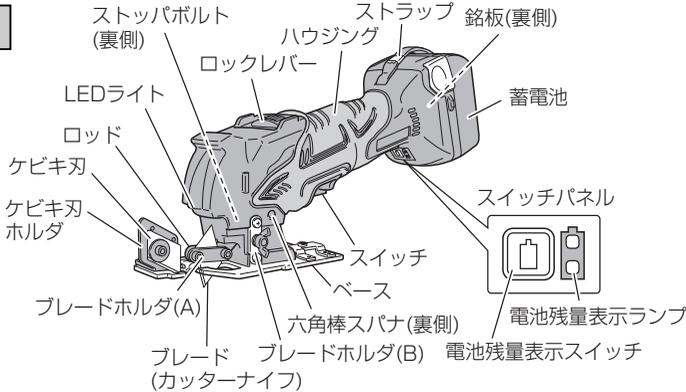
- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠ 注意

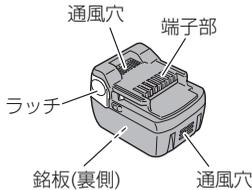
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

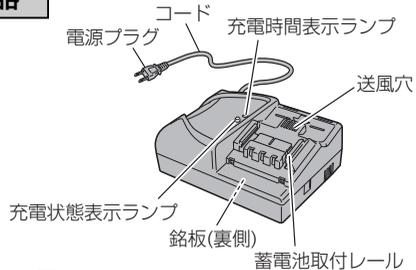
工具体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	LSCK	LLCK	LJCK	NN
蓄電池		BSL 1430 1個 (本体装着)	BSL 1440 1個 (本体装着)	BSL 1450 1個 (本体装着)	—
充電器	UC 18YSL2	1個	1個	1個	—
ブレード(カッターナイフ)		1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)
ケビキ刃		1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)	1枚 (本体装着)
カッターナイフ替刃		1枚	1枚	1枚	1枚
合板用ブレード		1枚	1枚	1枚	1枚
六角棒スパナ(3mm)		1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)
ダストカバー		1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)	1個 (本体収納部に装着)
ブレードカバー		1個 (本体装着)	1個 (本体装着)	1個 (本体装着)	1個 (本体装着)
収納ケース		1個	1個	1個	—

仕 様

1. 工具本体仕様

形 名	CK 14DSL
最大切断能力	石こうボード：30 mm 普通合板：15 mm
モーター	直流モーター
無負荷ストローク数 〔気温 20℃満充電時〕	6,500 min ⁻¹ {6,500 回/分}
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	14.4 V
質 量	1.9 kg (蓄電池装着時)
L E D ラ イ ト	白色LED
電池残量表示ランプ	赤色LED

2. 充電器

形 名	UC 18YSL2
入力電源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充電時間 〔気温 20℃時〕	BSL 1450 / BSL 1850 …約 35 分 BSL 1440 / BSL 1840 …約 30 分 BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 …約 22 分
充電電圧	14.4 V - 18 V
充電電流	BSL 1450 / BSL 1850 / BSL 1440 / BSL 1840 / BSL 1430 / BSL 1830 : 7.5 A BSL 1415 : 3.5 A
コード	2 心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
冷 却	対応 (ファン付き)
ブザー音	あり

3. 蓄電池

形 名	BSL 1430	BSL 1440	BSL 1450
容 量	3.0 Ah {3,000 mAh}	4.0 Ah {4,000 mAh}	5.0 Ah {5,000 mAh}
冷 却	対応		

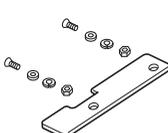
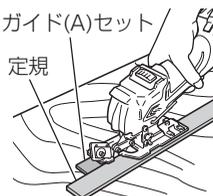
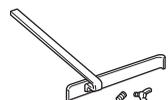
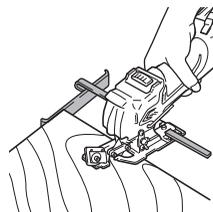
別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

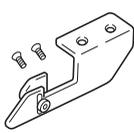
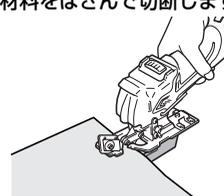
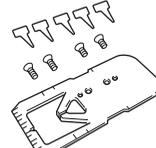
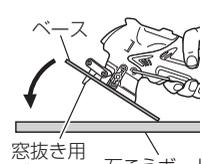
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1. ブレード

種類	形状	最大切断厚さ (mm)	切断材料
カッターナイフ替刃 【標準付属】 (10枚入り)		12.5	●石こうボード
		12	●シーリングボード ●ゴム
合板用ブレード【標準付属】 (10枚入り)		5.5	●普通合板
多用途ブレード (5枚入り)		12	●普通合板 ●石こうボード ●コンクリート型枠材(紙)
		4	●雨どい(塩化ビニール製)
硬質材用 多用途ブレード(5枚入り)		6	●窯業系硬質版
石こうボード用 ブレード(5枚入り)		19	●石こうボード
		15	●普通合板
石こうボード用 ブレード(B)(5枚入り)		30	●石こうボード
窓抜きブレード(A) (5枚入り)		12.5	●石こうボード(窓抜き用)
窓抜きブレード(B) (5枚入り)		25	●石こうボード(窓抜き用)

2. アタッチメント関係

アタッチメント	使用例
ガイド(A)セット 〔直線切り用〕 	ガイド(A)セット 定規  取付け方は部品についている 説明書をお読みください。
ガイド(B)セット 〔直線切り用〕 	

アタッチメント	使用例
薄物用 アタッチメント (ゴムなどの柔らかく 薄い材料の切断用) 	材料をはさんで切断します  取付け方は部品についている 説明書をお読みください。
石こうボード用 窓抜きセット (コンセントボックス などの窓抜き用) 	窓抜きブレード(A) 5枚付  ベース 窓抜き用 ブレード 石こうボード 取付け方は部品についている 説明書をお読みください。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V用です。200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

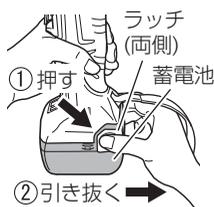
コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P12 充電ランプの表示について参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



•蓄電池をしっかり突き当たるまでさし込んでください。

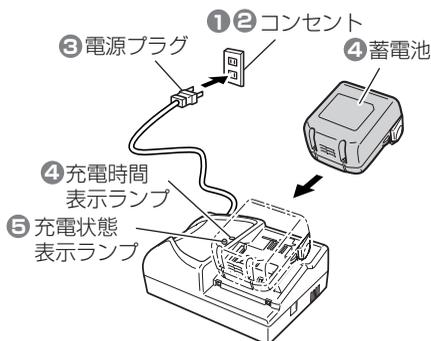
•充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑のいずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

BSL1430 : 約22分

BSL1440 : 約30分

BSL1450 : 約35分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。

各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高く充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あります。 (下記参照)

- 注**・橙の速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

電池残量警告ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

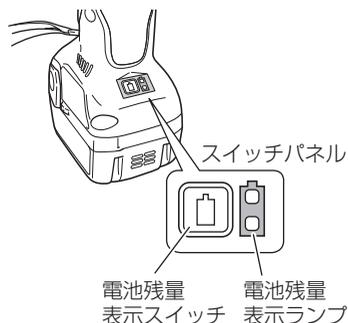
ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

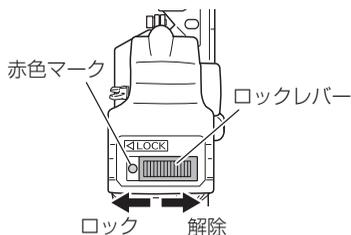


スイッチについて

スイッチはロックレバーを解除側にスライドさせてから（赤色マークが見えます）、引くとスイッチが入ります。また、スイッチを引くと同時にLEDライトが点灯します。

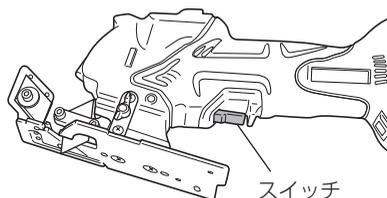
誤ってスイッチを入れてしまうことを防ぐため使用しないときはロックレバーをロック「LOCK」側（赤色マークが見なくなるよう）にスライドさせてください。

ロックレバーの解除作業がきつくなる場合がありますが赤丸マークが見えるまでスライドさせてください。



⚠ 注意

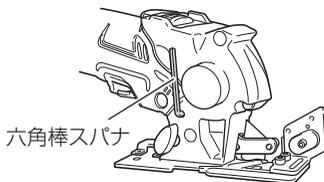
- 使用しないときは、必ずロックレバーをロック側にスライドさせてください。
- ロックレバーを操作するときはスイッチをさわらないでください。
- ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。



六角棒スパナの収納について

六角棒スパナは本体に収納できるように
なっています。

使用しないときは、なくさないように
収納部にさし込んでおいてください。



ダストカバーの取りはずし・取付け

⚠ 警告

- ダストカバーの取りはずし、取付けの際には、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体からはずしてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- ブレード(刃物)には触れないように注意してください。

ダストカバーは上向き作業時、落ちてくる粉じんを溜めるのに有効です。

取りはずし方

ストップボルトをゆるめ、ダストカバーの引っ掛け部をはずして、本体前方に引くと取りはずせます。

- 注** ダストカバーの引っ掛け部を強く引きすぎると破損する恐れがあります。軽い力でゆっくりとはずしてください。

取付け方

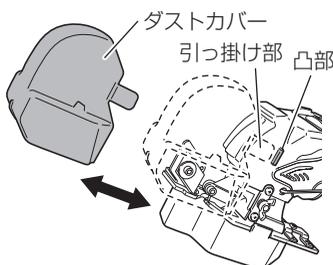
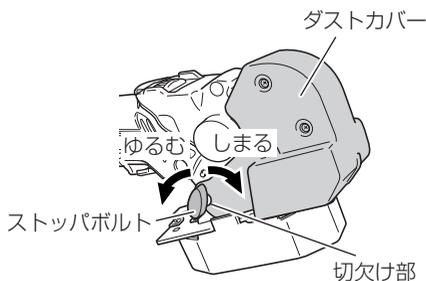
ダストカバーの引っ掛け部が本体の凸部にはまり、ダストカバーの切欠け部がストップボルトのねじ部にはまっていることを確認してストップボルトを確実に締めてください。

- 注** ストップボルトを強く締めすぎるとダストカバーが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

ダストカバーに付着している切粉をふき取り、確実に取付けてください。ダストカバーの取付けが確実でないと、けがの原因になります。

- 注** ダストカバー内に切粉がたまと、ブレードの刃先位置が確認しにくくなったり、LEDライトが暗くなりますので、ときどき取りはずして掃除をしてください。



ブレードの取りはずし・取付け

警告

ブレードの取りはずし、取付けの際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体からはずしてください。

誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

取りはずし方

1 付属の六角棒スパナで、ブレードとブレードホルダー(A)を固定しているブレード止めねじ2本を、反時計方向にまわしてゆるめます。

2 ベースの下方より、ブレードを持ち、下方にはずします。

取付け方

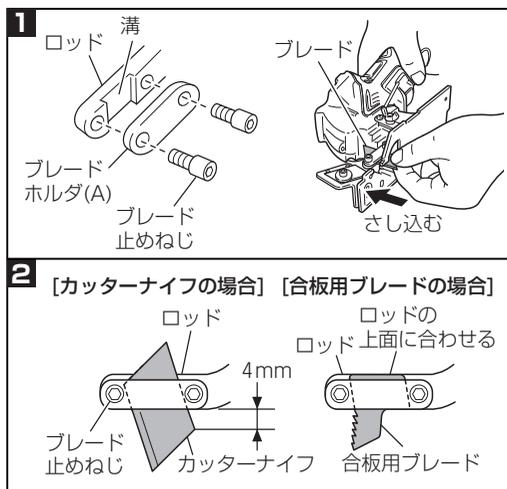
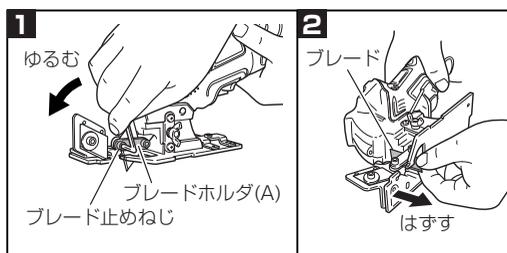
1 ロッドには、溝を設けてあります。ブレードをロッド下方よりこの溝にさし込みます。

2 ブレードが溝に完全に入っていることを確認した後、カッターナイフの場合は、ロッドの下面から約4mmの位置と、カッターナイフの角の部分を合わせます。また合板用ブレードの場合は、ロッドの上面と、合板用ブレードの上面を合わせます。

3 ブレードの位置が決まりましたらブレード止めねじ2本を十分に締付けてください。

注意

- ブレードに付着している切粉をふき取り、確実に取付けてください。ブレードの取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- 使用直後のブレードおよびロッドは、高温になっているので、触れないでください。



注 ブレードはロッドの溝に完全に入った状態で固定してください。溝からずれた状態で固定すると、ブレードが折れたり、ロッドの損傷を招く恐れがあります。

ケビキ刃の取りはずし・取付け

⚠ 警告

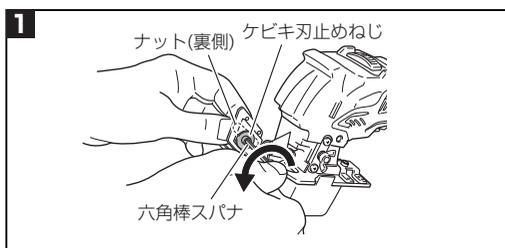
ケビキ刃の取りはずし、取付けの際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体からはずしてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

⚠ 注意

ケビキ刃に付着している切粉をふき取り、確実に取付けてください。ケビキ刃の取付けが確実でないと、ケビキ刃がはずれ、けがの原因になります。

取りはずし方

- 1 付属の六角棒スパナで、ケビキ刃を固定しているケビキ刃止めねじを反時計方向にまわしてゆるめます。
- 2 裏側のナットを押さえながらケビキ刃止めねじを抜きケビキ刃をはずします。

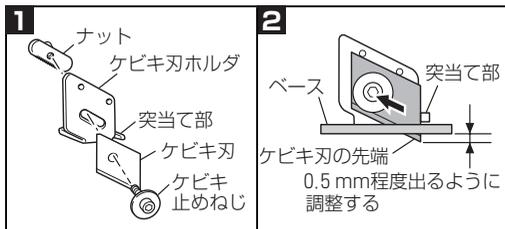


注 ケビキ刃止めねじ、ナットを紛失しないようご注意ください。

取付け方

- 1 ケビキ刃止めねじを、ケビキ刃の穴を通して、ケビキ刃ホルダの長穴にさし込みます。
- 2 ケビキ刃の先端をケビキ刃ホルダの突当て部に突当てた後、ケビキ刃の刃先が、ベース下面より0.5 mm程度出るようにケビキ刃を、矢印の方向に移動させて、調整します。

注 ケビキ刃を取付けるときは、ケビキ刃ホルダに付いているごみなどを取除いてから取付けてください。ごみなどが付いたままケビキ刃を取付けますと、ケビキ刃を破損する恐れがあります。



- 3 調整後、ケビキ刃止めねじを締付けます。

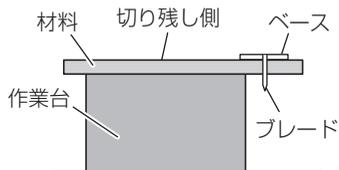
注 合板用ブレードを使用する際は、ケビキ刃を使用しません。ケビキ刃がベース下面より出ないように、ケビキ刃を移動させ固定してください。

切断する

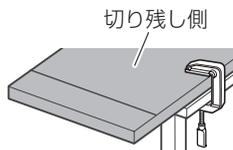
- カッターナイフ替刃で石こうボードを切断する
- 合板用ブレードで普通合板を切断する

1 作業台(木製)を用意する

- ブレードは材料の下面より出ますので、材料は作業台の上のせて切断してください。
作業台がグラグラすると危険です。
安定した作業台を用意してください。

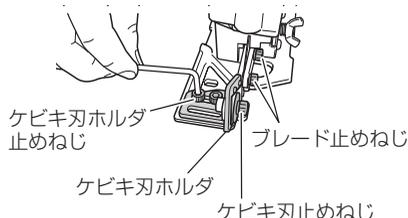


- 切断する材料の切り残し側はクランプなどで固定してしっかり押さえてください。



2 ブレード類の確認

- ブレード止めねじ、ケビキ刃止めねじ、ケビキ刃ホルダ止めねじの締付けを付属の六角棒スパナを使用し点検してください。



- ケビキ刃の先端が折れたり、摩耗していないか点検してください。折れたり、摩耗したケビキ刃を使用しますと切り口の仕上がりが悪くなりますので、新品と交換してください。

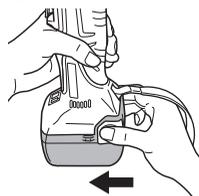
警告

ブレードの点検の際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を本体からはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

- 注** 工場出荷の際、カッターナイフ切刃とケビキ刃を取付けてあります。
普通合板や化粧合板を切断するときには付属の合板用ブレードを取付けてください。また、ケビキ刃をベース下面から出ないように、ケビキ刃を移動させ固定してください。
(P 15、16 参照)

3 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



注意

蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

4 スイッチロックを解除する

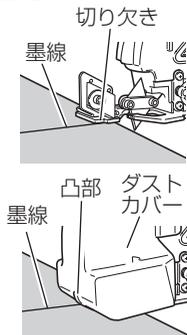
ロックレバーを矢印方向にしっかりとスライドしてください。
スライドすると赤色マークが見えます。



5

墨線に合わせる

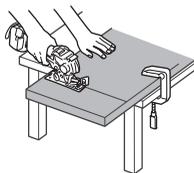
- 墨線とブレードはベース前部の切り欠きで合わせます。
- ダストカバーを付けて墨線に合わせるときはダストカバーの凸部に合わせます。



6

スイッチを入れる

ブレードが材料に触れていない状態でスイッチを入れます。材料がばたつかないようにしっかり押さえ、ゆっくり切断します。

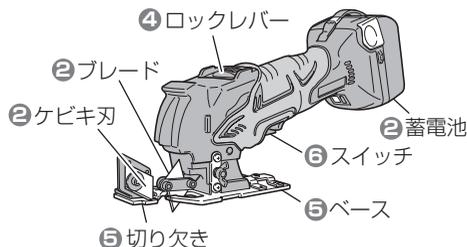


警告

スイッチ操作時は、絶対にブレード類に指を近づけないでください。

注 ブレードが折れる原因になりますので、下記の事項に注意して切断してください。

- 切断中に本機をこじらない。
- 本機を無理に速く送らない。
- あまり小さな曲線に切断しない。
- 急激に切り込んで窓を抜かない。
- ベースを材料から浮かせたり、材料を作業台から大きく突き出して切断しない。材料がばたつき、刃物が折れやすくなります。



●切断作業のコツ

正確な直線を切る

適当な材料を案内定規とし、墨線から30 mmはなしておきます。これにベース側面を軽く当てながら送ります。また、別売の『ガイド(A)セット』、『ガイド(B)セット』もご検討ください。(P 10「別売部品」参照)

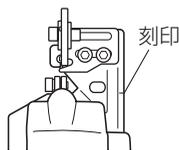


曲線を切る

曲線に切るときは、直線に切るときよりさらにゆっくり送ってください。

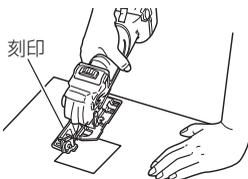
切断を途中で止める

ベース上面の刻印は、ブレードの位置を示します。材料を途中まで切断する場合に便利です。また、ダストカバーの両側にも印がありますので参考にしてください。



窓を抜く

ベース先端を材料に当て、ベース後方を浮かせ、少しずつ切込んで、切り込み開始穴を作り、ゆっくり送ります。



また、別売の『石こうボード用窓抜きセット』もご検討ください。(P 10「別売部品」参照)

カッターナイフ替刃について

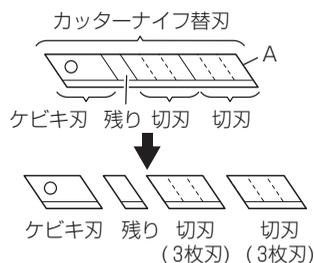
警告

カッターナイフ替刃は、必ず「3枚刃」の状態に折って使用してください。
カッターナイフ替刃を折らずに長いまま、または、指定の長さよりも長くして、
本機に取付けますと、けがの原因になります。

切刃とケビキ刃について

1枚のカッターナイフ替刃から、切刃が2枚、ケビキ刃が1枚作れます。

カッターナイフ替刃の端(図のA側)から数えて3本目毎の折線を折り、3枚刃の状態を切刃として使います。穴のあいた部分は、ケビキ刃として使います。残りは安全な場所にお捨てください。



カッターナイフ替刃の折り方

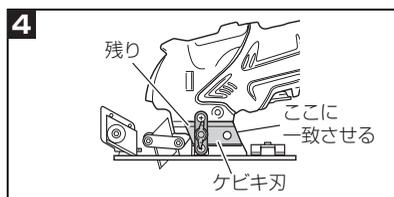
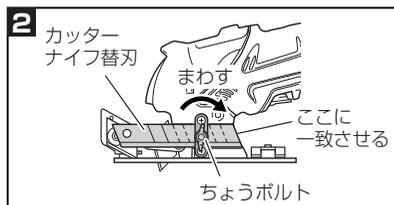
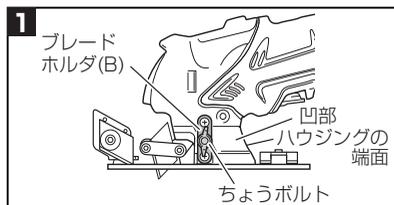
1 ちょうボルトをゆるめ凹部にカッターナイフ替刃をさし込みます。

2 カッターナイフ替刃の先端をハウジングの端面と一致させ、ちょうボルトをまわしカッターナイフを分割します。

3 ちょうボルトを少しゆるめ、カッターナイフ替刃および切刃をとります。

4 ケビキ刃を作る場合には、丸穴のあいている側をハウジングの端面と一致させ、ちょうボルトをまわしカッターナイフを分割します。

注 切刃、ケビキ刃作成後、ちょうボルトは、紛失しないように軽く締めておいてください。

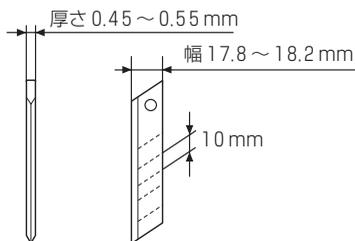


市販のカッターナイフ替刃について

市販のカッターナイフ替刃でも、右図の寸法のものであれば、本機の切刃、ケビキ刃として使えます。

カッターナイフ替刃を折って、切刃・ケビキ刃を作ってください。

なお、市販のカッターナイフ替刃で右図の寸法のものとしては、オルファ(株)製「替刃(大)」があります。



切断できる長さについて

一充電当たりの切断長さの目安を示します。

(切断長さは、周囲温度、蓄電池特性や、切断材料の種類・硬さなどにより、多少異なります。)

蓄電池	材 料	材料の厚さ	使用ブレード	切断長さ
BSL 1450	石こうボード	12.5 mm	カッターナイフ	約 175 m
	普通合板	5.5 mm	合板用ブレード	約 135 m

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具体体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ブレードの点検

ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

●お手入れする

工具が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は工具の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●取付ねじの点検

工具のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

●作業後の保管

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

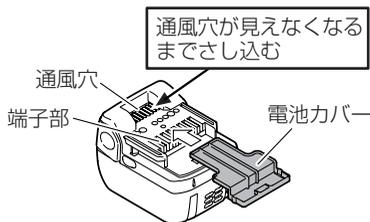
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 5733-0255	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスして最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>